学部 / 看護専門領域 / 看護の実践 科目コード:120409

## 成人看護学実習A Adult Nursing:Practicum I

担当教員		村井 嘉子 北山 幸枝 南堀 直之 大西陽子					
実務経験							
開講年次		3年次後期	単位数 時間数 患の急性増悪、急性期看	2 90 i護、成人期特有の健康問	授業形態	実習	
必修・選択		必修					
Keywords		周手術期看護、慢性疾			1題		
学習目的・目標		【目標】 急性期の状況にある成人期の患者・家族を包括的に捉え、状況の変化に即した適切な看護を実践する能力を養う。 【目標】 1. 生活者として急性期の状況にある患者の身体的・精神的・社会的な特徴が理解できる。 2. 急性期の状況にある患者を理解し、援助することができる。 3. 治療・検査を受ける対象の身体的・精神的・社会的状況を理解し、援助することができる。 4. 家族・近親者の抱く不安や役割を理解し、必要な援助ができる。 5. 医療従事者間の協働の重要性について考え、各々の役割が理解できる。					
受業計画・内	容						
田	内容						
	6. 学習内7. 所定の	受け持ち患者記録を行	ò				
教科書			した教科書及びテキスト				
		成人看護方法論Ⅰ・Ⅱで提示した資料及びテキスト					
参考図書等		臨床外科看護総論 青木照明他編集 医学書院 臨床外科看護各論 北島政樹他編集 医学書院 臨床外科学第11版 小柳仁監修 医学書院					
評価指標		実習期間の2/3以上、出席することにより評価の対象とする。 その上で、看護ケアの提供状況と取り組み姿勢50%、対象理解と看護過程における思考の整理25%、カンファレンスでの発表、自己の振り返り等25%					

関連科目	成人看護学領域で学んだ科目と直結する 成人看護学実習B 統合実習B	
教員から学生への メッセージ	対象の経過が急速かつ短期間に変化します。その時対象はどのような反応を示すのでしょう?そしてどのような援助が必要なのでしょう? 自分の観察力、洞察力、判断力を発揮し、また自分の課題とも向き合い自己成長につなげてください。	